

第6学年社会科学学習指導案

指導者 一関市立赤荻小学校

教諭 刈谷 晋

1 単元名 10 戦争と人々の暮らし

2 単元について

(1) 教材について

本単元は、学習指導要領第6学年の内容(1)のケ「日華事変、我が国にかかわる第二次世界大戦、日本国憲法の制定、オリンピックの開催などについて調べ、戦後我が国は民主的な国家として出発し、国民生活が向上し国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことが分かること。」を受けて設定されたものである。

本単元では、日中戦争から太平洋戦争まで十五年に渡る戦時体制に至った経緯や日本の被害、周辺諸国へ与えた損害について学習する。この時代は、世界恐慌により国民生活が著しく疲弊した時期である。そのような混沌とした情勢の中で、日本は軍部が主導するかたちで中国やアメリカを主とする連合軍との戦争を始め、長く苦しい日々が幕を開けることとなる。戦争が長引き戦局が悪化するにつれて国民も困窮した生活を強いられることとなった。戦場で戦った兵士はもちろん、残された人々も空襲や原爆などの被害にあったり物資の不足に悩まされたりするなど死と隣り合わせの毎日を生きていた。戦後70年が経過し、直接戦争を知る人も少なくなってきた。人々の記憶からも薄れつつある。しかし、日本人として避けては通れない内容である。本単元の学習を通して、平和について深く考えることで日本人としてこれからどう在るべきかを自問することができると考える。

(2) 児童について

児童の社会科に対する関心は高く、意欲的に学習に取り組む子が多い。調べて分かったことから新たな疑問をもち、家庭学習で取り組んでくる児童も少なくない。これまでの歴史学習では、問題解決的な学習過程の中で、種々の資料をもとに調べる活動を通して、事象の意味や相互の関連性について理解を深めてきた。まとめの段階では、獲得した知識を再構成し文章化したり考えを自分なりにまとめて伝え合ったりする活動を行っている。個人差はあるものの、学習内容を文章でまとめることができるようになってきている。しかし、複数資料を関連付けて読み取ったり資料の裏にある社会的事象を適切に捉えたりすることが十分であるとはいえず、資料活用の視点を与えながら情報を取り出したりそこから見える事象について話し合わせたりする学習活動を行っている最中である。

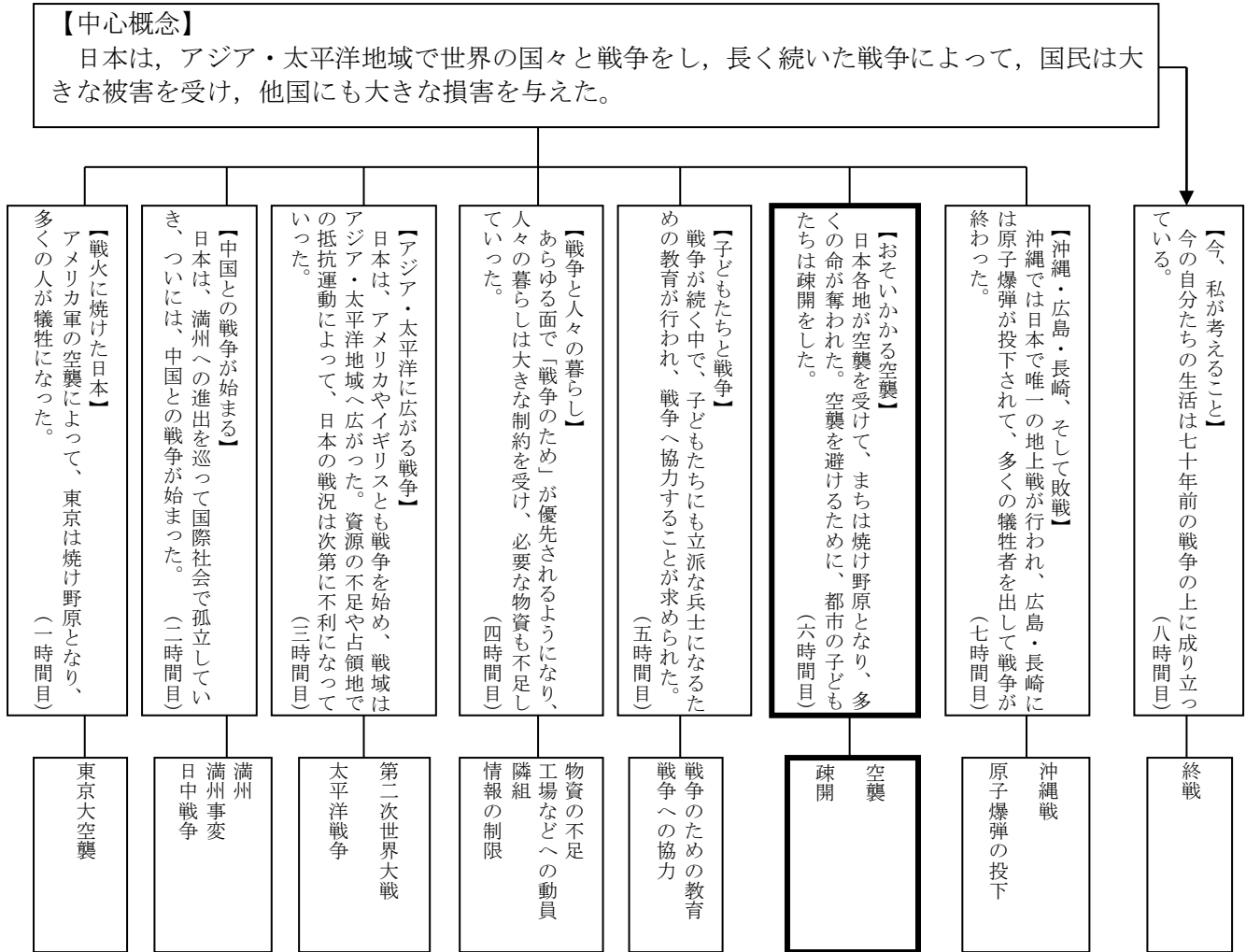
(3) 指導について

戦争の過程だけでなく、戦時下の人々の生活に注目させながら学習を展開していく。戦争の激化とともに国民生活が困窮していったことに着目させ、「もし自分がその場にいたらどう思うか」というように主体的・共感的に学習を進められるようにしていきたい。一つの資料をじっくりと読み取ったり複数資料を比較したりすることを通して、問題解決に向けた主体的な追究を行わせていきたい。さらにグループや全体での話し合いを意図的に取り入れ、友だちの主張を聞くことで自分の考えを深めさせていきたい。本単元を通して、多くの犠牲の上に現在の平和な日本があるということに気付かせ、これからの社会について考えさせていきたい。

また、本時では以下の手立てを組むことで、社会的なものの見方や考え方を養っていきたい。

- ・社会的事象をより広い視野で捉えられるようにするために、様々な形態の資料を提示する。
- ・全国→岩手・一関というように調べ学習の視点を地域に移すことで問題意識を強くもたせる。
- ・主体的な学習を行うために、調べたことを自分なりの方法でまとめる活動を取り入れる。

3 単元の知識の構造図



4 単元の目標

- (1) 十五年に及ぶ戦争の様子とその時代を生き抜いた人々の生活に関心をもち、意欲的に調べようとしている。

【社会的事象への関心・意欲・態度】

- (2) 戦況の変遷が国民生活にどのような変化をもたらしたのかを理解し、この戦争に対する自分の考えをまとめることができる。

【社会科的な思考・判断・表現】

- (3) 戦争の広がりや国民生活への影響について、資料を効果的に活用して調べることができる。

【資料活用の技能】

- (4) 終戦に至るまでの経緯や被害状況について理解することができる。




【社会的事象についての知識・理解】

5 単元の指導計画

| 時 | 目 標 | 学習活動 | 評価規準と評価方法 |
|-----------|---|---|--|
| 1 | 空襲の被害を受けた東京のまちと現在の様子とを比較しながら、戦時中の日本の様子に関心を持ち、学習問題を設定することができる。 | 東京大空襲での被害の様子を調べ、戦争とその時代の人々の暮らしに関心を持ち、学習問題をつくる。 | 空襲の被害を受けた東京の写真から、戦争とその時代の人々の暮らしに関心を持ち、進んで調べようとしている。 【関心・意欲・態度】(発言) |
| 2 | 日中戦争がどのように始まり、展開していったのかを調べ、中国大陸で戦線が拡大していった経緯を捉えることができる。 | 日本が中国大陸に進出し、中国との間で戦争が起こった経緯について調べる。 | 日中戦争が始まった経緯と、その後中国全土に戦線が拡大していったことを理解している。 【知識・理解】(ノート) |
| 3 | 戦争が、アジア・太平洋の広い地域に拡大していった経緯や背景を調べ、その影響について理解することができる。 | 戦争がアジア・太平洋地域へと広がっていく経緯とその背景を調べ、日本の状況や他の地域に与えた影響について考える。 | 戦争がアジア・太平洋地域に広がっていったことの影響を理解している。 【知識・理解】(ノート) |
| 4 | 戦争中の暮らしの様子を調べ、戦争が人々の暮らしに与えた影響について考えることができる。 | 戦争が人々にどのような影響を与えたのかを調べ、当時の人々はどのような思いだったのかを考える。 | 写真や年表から、戦争中の人々の暮らしの変化を読み取っている。 【技能】(ノート) |
| 5 | 戦争中の子どもたちの様子を調べ、戦争が子どもたちの暮らしに与えた影響について考えることができる。 | 戦争中の子どもたちの暮らしの様子を調べ、当時の子どもの思いや願いを考える。 | 戦争中の子どもたちの暮らしの様子をつかみ、自分たちの日常生活と比較しながら、当時の子どもの思いや願いを考えている。 【思考・判断・表現】(ノート) |
| 6 (本時) | 日本各地の空襲や艦砲射撃による被害について調べ、戦争によって国民が大きな損害を受けたことを捉えることができる。 | 空襲の様子と被害の大きさについて調べ、戦争が国民生活に及ぼした影響について考える。 | 空襲によって国民が受けた被害の大きさについて理解している。 【知識・理解】(ノート) |
| 7 | 沖縄戦や広島・長崎への原爆投下について調べ、大きな犠牲の上に戦争が終結したことを理解することができる。 | 沖縄戦や広島・長崎の原爆の被害について調べ、この戦争が大きな犠牲を払って終結したことを理解する。 | 沖縄戦や原爆がもたらした被害の大きさについて理解している。 【知識・理解】(ノート) |
| 8 | 既習事項をもとに、戦争に対する自分の考えを深めることができる。 | これまでの戦争の学習を振り返り、特に伝えたいことを「はがき新聞」にまとめる。 | 学習したことをもとに、戦争に対する自分の考えをまとめ、表現している。 【思考・判断・表現】(ノート) |

6 資料活用構想図

6年「戦争と人々の暮らし」

| | さがす・見つける | 比較・関連・総合する 表現・説明する |
|-----------|--|--|
| 1 | ①東京大空襲の被害の様子【写真】 ②現在の東京の様子【写真】 ・①と②を比較し、被害の凄まじさを読み取らせる。 | ①東京大空襲の被害の様子【写真】 ・「日本が戦った戦争は、どのようなものだったのか」という単元全体の課題を設定する。 |
| 2 | ①上海市街にせめこむ日本軍【写真】 ・日本と中国が戦争を始めたことを理解させる。 ・開戦のきっかけを調べる。 | ②満州にわたって土地を耕す子どもたち【写真】 ・満州での生活の様子を読み取る。 ③中国全土に広がる戦争【地図】 ・どのように戦争が広がっていったのかを詳しく読み取る。 |
| 3 | ①真珠湾攻撃の様子【写真】 ・日本がアメリカと戦争を始めたことを理解させる。 ・開戦のきっかけを調べる。 | ②広がる戦争【年表】 ・日中戦争から太平洋戦争に至るまでの経緯を確認する。 ③日本とアメリカの国力のちがい【グラフ】 ・圧倒的な国力の差があることを読み取らせる。 ④アジア・太平洋への戦争の広がり【地図】 ・戦場となった場所を読み取り、アジア・太平洋地域に戦場を広げた日本のねらいを考えさせる。 |
| 4 | ①高校野球100年【新聞】 ・今年で100周年なのになぜ第97回大会だったのかを考えさせる。 ・戦争によって国民生活に大きな変化があったことを理解させる。 | ②召集令状【複製品】 ③召集令状交付順序表【写真】 ・記載内容を読み取り、受け取った本人や家族の心情を想像する。 ④戦争と国民生活の変化【年表】 ・戦況の変化による生活への影響を読み取る。 |
| 5 | ①戦争中の教科書【写真】 ・教材中に戦争が色濃く表されていることをとらえさせる。 ・当時の子どもたちがどのような生活をしてきたのかを調べる。 | ②軍事訓練を受ける小学生【写真】 ・どのような授業が行われていたのかを考えさせる。 ③一関市内の学徒動員一覧【表】 ・様々な学校の生徒が戦争のために駆り出されていたことを読み取らせる。 |
| 6 (本時) | <p>①爆弾の破片【実物】</p>  <p>②空襲の様子【写真】</p>  <p>③爆弾の原寸大パネル【実物】</p> <ul style="list-style-type: none"> 爆撃の激しさや爆弾の破片の重量感から、被害の大きさに気付かせる。 | <p>④空襲を受けた都市【地図】</p>  <p>⑤学習シート</p> <ul style="list-style-type: none"> ○岩手県内で空襲を受けた市町村【地図】 ○身近であった空襲【文章】 ○疎開先の日【文章】 ○一関・西磐井地区学童集団疎開状況【表】 <p>・岩手県でも空襲の被害を受けたり都市部から疎開を受け入れたりすることを読み取らせる。</p> <p>・資料を選択して読み取り、学習問題に対する答えをまとめさせる。</p> |
| 7 | ①広島瓦【実物】 ②後藤野飛行場から飛び立った特攻隊【写真】 ・追いつめられた日本軍と米軍の本土への攻撃の様子を考えさせる。 | ②捕虜となった少年兵【写真】 ・沖縄戦の状況を読み取らせる。 ③原子爆弾投下前と投下後の長崎のまち【写真】 ・まちの様子を比較し、原爆の威力を理解させる。 ④第二次世界大戦の日本とアメリカの死者数【グラフ】 ・日本がこの戦争で大きな代償を払ったことを読み取らせる。 |
| 8 | ①本単元でまとめたノート ②本単元で活用した資料 | ③まとめる観点を整理し、内容を精選する。 ④「はがき新聞」に自分の考えをまとめる。 |

7 本時の指導

(1) 目標

- ・日本各地の空襲や艦砲射撃による被害について調べ、戦争によって国民が大きな損害を受けたことを捉えることができる。

(2) 評価規準

| 観 点 | 評価規準 |
|---------------------|-------------------------------|
| 社会的事象についての 知識・理解 | 空襲によって国民が受けた被害の大きさについて理解している。 |

(3) 本時の展開

社会的な見方や考え方を身に付けさせる資料活用

(○資料提示の工夫 □複数の資料を比較・関連・総合させる工夫 ◇資料をもとに考えを表現させる工夫)

| 段階 | 学習内容と学習活動 (・ 指導上の留意点) | 社会的な見方や考え方を身に付けさせる資料活用 |
|----------------|---|--|
| 問題の把握 (5分) | <p>1 前時までの内容確認 (1) 空襲の概要を確認する。 ・ 爆撃の激しさや爆弾の破片の重量感から、落ちてきたら大変な被害を受けるということに気付かせる。</p> <p>2 学習問題の提示</p> <p>空襲によって、日本はどのような被害を受けたのか。</p> | <p>・ ①爆弾の破片 (実物提示) ・ ②空襲の様子 (写真) ・ ③爆弾の原寸大パネル (実物提示)</p> <p>①爆弾の破片 (実物提示) ②空襲の様子 (写真) ③爆弾の原寸大パネル (実物提示) 具体物から、空襲による被害を想像させる。</p> <p>○視覚, 触覚を働かせる資料を提示することで、空襲の恐ろしさを実感させ、問題意識を強くもたせる。</p> |
| 問題の追究 (35分) | <p>3 予想の発表 (1) 空襲による被害状況を予想し、発表する。 (2) 「人々」「まち」の2観点にまとめる。</p> <p>4 学習問題の追究 (1) 全国の被害を調べる。 ・ 人々がどのような被害を受けたかを調べさせる。 ・ 空襲を受けたまちはどのような場所だといえるのかを考えさせる。 ・ 空襲に遭った子どもたちはどのような生活を強いられたのかを調べさせる。</p> <p>(2) 岩手県や一関市の被害を調べる。 ・ 学習シートをもとに、県や市の空襲被害の状況や市内の集団疎開の状況を調べさせる。(一人学び) ・ 矢印や吹き出し、箇条書きなどの方法を選択してまとめるよう声かけを行う。 ・ 人々がどのような生活を送っていたのかを推測しながら調べるよう促す。 ・ 調べて考えたことを交流させる。(グループ) ・ 交流して深まった考えを発表させる。(全体)</p> | <p>・ ④岩手県内で空襲を受けた市町村 (地図) ・ ⑤学習シート ・ 空襲を受けた市町村 (地図) ・ 身近であった空襲 (文章) ・ 疎開先の日 (文章) ・ 一関・西磐井地方学童集団疎開状況 (表)</p> <p>⑤学習シート 複数資料を関連付けながら読み取り、岩手県や一関市の被害状況をつかむ。</p> <p>□全国から岩手県、一関市と視点を狭めていくことで、自分たちの住む地域の被害を読み取ったりそれに伴う生活への影響を考察したりする。</p> <p>◇資料を取捨選択し、本県や本市の被害状況や疎開の受入状況を自分なりの方法でまとめ、交流する。</p> |
| まとめ (5分) | <p>5 学習問題のまとめ (1) 学習問題に対するまとめを書く。</p> <p>空襲によって、多くの人が亡くなり、たくさんの都市が焼け野原になった。一関も空襲の被害にあった。都市の子どもたちは親もとをはなれて集団で疎開をした。</p> <p>(2) 自分の考えを発表する。 【記入例】</p> <p>空襲によって、日本各地が大きな被害を受けたことが分かった。一関空襲の様子や疎開して来た人たちの生活についてもっと調べてみたい。</p> | <p>【評価】</p> <p>空襲による「まちの被害」「人々の被害」の様子から考察し、全国だけでなく、岩手県や一関市も大きな被害を受けたことをまとめているか。 (知識・理解)</p> |

8 板書計画

空襲によって、日本はどのような被害を受けたのか。

たくさん亡くなった
住む場所がなくなった

建物がこわれた
焼け野原

- 全国で約 20 万人も亡くなる
- 焼け野原 → 建物がこわれる
- 都市の小学生は親もとをはなれて集団で疎開した

空襲でなくなった人数
● 100～1000人未満
▲ 1000～5000人未満
■ 5000人以上

空襲を受けた主な都市

岩手や一関は？

県内や一関でも空襲
↓
多くの人 が亡くなった

沿岸部が多い → 釜石
↑ 製鉄所
人口の多い町がねらわれた？

太平洋ベルトに集中

東京から疎開 → つらい
一関でも食料が不足していた

疎開…寺や神社で集団生活
つらい生活
いつ帰れるか分からない
不安、さびしさ

空襲によって、多くの人 が亡くなり、たくさんの都市が焼け野原になった。一関も空襲の被害にあった。都市の子どもたちは親もとをはなれて集団で疎開をした。